

# 「認知症カフェ」移動文庫の取組 ～地域包括支援センター・介護施設との連携～

秋田県 由利本荘市中央図書館

## 基本データ

所在地	秋田県由利本荘市東町 15番地
職員数	19人
うち司書数	6人
蔵書数	179,781冊
利用登録者数	20,007人
年間貸出冊数	207,250冊
(児童用図書貸出数 66,094冊)	

## テーマ・活動のねらい等

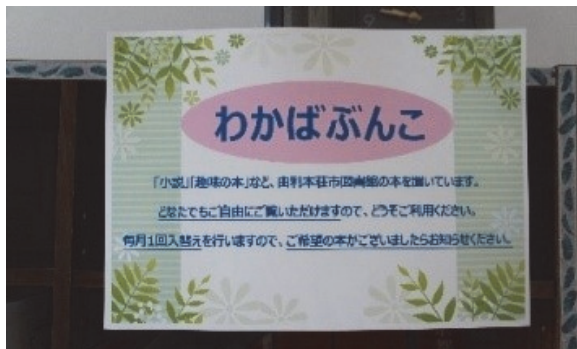
【テーマ】様々な利用者へのサービスの充実

【活動のねらい】

- 高齢者とその家族に向けて「認知症」や「介護」に関する正確な情報を提供し、生活の不安の軽減を図る。
- 読みやすい図書資料を揃え、施設を利用する高齢者同士の交流の機会を作る。
- 施設運営の一助となるよう、施設従事者に向けて業務の参考となる専門書を選定、提供する。

## 取組・活動の概要

- 本市地域包括支援センターならびに高齢者介護施設と連携し、図書館への来館が困難な高齢者を対象に、「認知症カフェ」を開催する施設で移動文庫を実施している。
- 毎月1回のペースで80冊前後の図書資料を入替えている。(令和元年10月より開始)



移動文庫「わかばぶんこ」の案内



移動文庫「わかばぶんこ」

## 取組・活動の工夫や特徴

- 高齢者が読みやすいことを意識し、「写真集」「画集」「大活字本」など、図版を多用した図書資料の選書を心がけている。
- また、認知症の予防に効果が期待される回想法等に活用できるよう、昔の生活や習俗などを主題とする写真集や絵本なども併せて選定している。
- 文庫の図書資料の取扱いについて、次のとおりとした。
  - 紛失や破損に関しては施設側に責任を問わない。
  - 施設の実施事業に応じて施設外に持ち出すことを認める。
  - ノートを使った簡易な方法での貸出を認める。

## 取組・活動の成果や今後の展望

- 「高齢者支援」「認知症」への取組に対し、地域包括支援センターと介護施設が図書館との連携に理解を示し、協力の姿勢を積極的に見せてくれたことが大きな成果である。
- 文庫の入替えや「認知症カフェ」の開催に合わせて高齢者や施設従事者と対話し、必要とされる情報や図書資料の把握に努めるとともに、「認知症カフェ」での読み聞かせなどを行い、

図書資料を活用した能動的なサービスに取り組んでいる。



「認知症カフェ」イベントポスター

- また、病院との連携事業も行っていることから、今後は図書館をハブとした介護施設～病院～地域包括支援センターの横断的な連携体制による高齢者支援に取り組んでいきたい。

